

平成 21 年 2 月 25 日

各位

## 『F F G調査月報3月号』発行について

2月25日(水)、経済調査誌『F F G調査月報3月号』を発行いたしましたのでお知らせいたします。

今月のメインレポートは、「2009年度介護報酬改定の概要と方向性」と「九州の工場立地と製造業の動向」の2本です。

なお、F F G調査月報はF F G三行の営業店の窓口には配置しております。

### **産業調査**

#### 「2009年度介護報酬改定の概要と方向性」

2009年度の介護報酬改定では、深刻な介護従事者の人材不足を背景に**介護保険制度発足後初めてとなるプラス改定(+3.0%)**が決定されました。今回の改定は、介護従事者の処遇改善・人材の定着を最大のテーマとし、負担の大きな夜勤業務や認知症の対応への報酬引き上げ、介護従事者のキャリア(有資格者、勤続年数、常勤職員)に着目した加算などを行います。

レポートでは、厚生労働省の社会保障審議会介護給付費分科会における最新情報をもとに、介護報酬改定の方向性と介護サービスごとの改定のポイントを解説し、介護事業者への影響と介護従事者の雇用環境について考察します。

### **地域経済調査**

#### 「九州の工場立地と製造業の動向」

世界的な金融危機の影響が九州経済にも波及し、活発だった生産活動は一転して生産調整の動きを強め、工場新設や増設の動きは2008年上期以降、慎重なものへと変化しつつあります。多くの業種の生産活動が07年から08年にピークを迎え、08年10月以降急低下しているなか、電気機械工業は太陽電池、風力発電関連の生産増加により、生産指数は増加しています。速やかな生産調整の進展とともに、新たな産業分野の活発な生産活動が製造業全体に波及していくことが期待されます。

#### **好調な工場立地とともに、2007年までは製造業出荷額も増加**

九州7県の製造業出荷額は2002年の18兆1,000億円をボトムに、活発な工場立地の動きとともに増加へと転じ、07年には02年比27.6%増の22兆9,000億円へと増加しました。

産業構成比が上位にあり、02年から07年にかけて出荷額の増加率が高かった業種は、基礎素材型産業の鉄鋼業(89.9%増)、化学工業(49.8%増)のほか、加工組立型産業の電気機械(63.5%増)、一般機械(45.6%増)、輸送機械(32.4%増)でした。

#### **08年10月以降、急速に低下している鋳工業生産**

多くの業種が07年から08年に生産のピークを迎え、08年10月以降に鋳工業生産指数は急低下しました。特に、鉄鋼業、電子部品・デバイス、自動車関連、半導体関連では、近年最も低い水準にまで一気に低下しています。そうしたなかであって、電気機械のみは太陽電池、風力発電関連の生産の増加により増加しています。

## トップに聞く

F F G 3 行取引先の経営者に、ご自身の「経営理念」と企業の「セールスポイント」をお聞きしています。

福山 義朗 氏 (風月フーズ 株式会社 代表取締役社長)

小笠原 徹朗 氏 (株式会社 阿蘇熊牧場 代表取締役社長)

本山 義昭 氏 (有限会社 本山石膏製型 代表取締役)

## しーず君の研究室訪問

「福岡工業大学・松尾先生」

大学から生まれた研究成果(大学シーズ)を紹介しています。今回は、インクジェット技術を医療や食品分野に応用しようと研究に取り組む、福岡工業大学の松尾先生にお話を伺っています。

## FFGニュース

「医業経営ビジネス交流会 2009」を開催

2009年1月24日、ふくおかフィナンシャルグループ及び傘下行主催による「医業経営ビジネス交流会2009」を福岡山の上ホテルにて開催し、九州・山口の全域から100病院を超える200名近くの病院経営者や幹部の方々にご参加いただきました。本会は「医療制度改革を見据えた病院経営を考える」と題し病院経営の今後の方向性を探るとともに、県境を越えた病院経営者や幹部の方々の交流を目的に基調講演、医療機能別セミナーと交流会を行いました。

今回の医療機能別セミナー(慢性期病院向けセミナー)では、特別医療法人恵和会西岡病院 理事長 西澤 寛俊氏(社団法人 全日本病院協会 会長)に「慢性期医療と療養病床転換の行方」をテーマにご講演いただきましたので、その一部をご紹介します。

## 海外レポート

「内陸部へシフトする中国の生産拠点」

農村部と都市部の経済格差是正に向けて、中国政府が経済成長戦略の見直しを進める状況をレポートしています。

## 海外進出最前線

「マルヤ産業株式会社(大連福智精密機械有限公司)」

鋳物・黒鉛電極関連の輸入販売商社「マルヤ産業」が、中国に設立した鋳鉄製造会社を紹介しています。

<<本件に関する問い合わせ先>>

株式会社 F F G ビジネスコンサルティング 企画調査部(担当)横尾、島浦

電話：092-723-2576 FAX：092-761-8846